

院長	副院長	副院長	事務部長	看護部長	主査

## 第 69 回 地域協議会（地域医療支援委員会）概要

【日 時】令和 7 年 1 月 20 日（月）19：00 開始

【場 所】人吉医療センター3 階講堂、オンライン

【出席者】友永 和宏 （人吉市医師会会長）  
高森 啓史 （公的病院企業長）  
近藤 浩之 （球磨郡医師会理事）  
瀬戸 弘 （人吉市歯科医師会）  
山村 礼二 （球磨郡歯科医師会）  
河内 謙介 （西諸医師会理事）  
村田 圭介 （人吉球磨薬剤師会会長）  
木脇 弘二 （熊本県人吉保健所）  
松尾 美紀 （人吉市役所健康福祉部長）  
井手平 慎一 （えびの市健康保険課長）  
瀧田 尚史 （人吉市教育委員会）  
薬師寺 俊剛 （人吉医療センター院長）  
牟田 大助 （人吉医療センター副院長）  
石神 哲郎 （人吉医療センター歯科口腔外科センター長）  
告吉 ゆかり （人吉医療センター看護部部長）  
山脇 淳 （人吉医療センター事務部長）  
花田 浩二 （人吉医療センター総務企画課）  
久保田 智子 （人吉医療センター診療情報管理室）  
山田 一裕 （人吉医療センター医療福祉連携室）  
田頭 隼人 （人吉医療センター医療福祉連携室）

【欠席者】寺田 歩 （伊佐市医師会会長）  
寺岡 公美 （伊佐市役所保健課課長）

（敬称略 計 22 名）

## 【資料概要】

会次第

一、開会

二、議長挨拶

三、議題

①くまもとメディカルネットワークの現状と今後について

人吉医療センター 医療福祉連携室 山田 一裕

※別紙参照

質疑質問・意見

近藤議員：「診療情報ビューアについて勉強していきたい。生活情報ビューアとは主に介護施設が担当になるんですか？」

事務局：「主治医の先生が往診に行く時にも役に立つし、日頃診られている患者をフォローしてもらうことで、例えば、医療センターに入院した時に、その後の転帰なども情報共有することが可能。患者フォローをしていただくことで、日頃の動きが把握できる。」

近藤議員：「診療情報ビューアと生活情報ビューアの使い分けは？」

事務局：「診療情報ビューアは、施設によって違うが、検査データ、画像データ、処方内容などを閲覧できる。生活情報ビューアは、多職種、多施設で共有するチャットのようなもの。」

近藤議員：「例えば、ケアマネジャーがいない通所リハビリをやっていて、そういった時には具体的にどういう風に使ったよいか？」

事務局：「具体的には通所リハビリから参加してもらい、担当ケアマネジャーがケアプランなどを生活情報ビューア上にアップしてもらい、主治医をはじめ、通所リハスタッフ、ケアマネジャーとの連携が図れる。また、医療機関を退院された場合などに現在、看護サマリーを生活情報ビューアでアップし、担当ケアマネジャーと共有しているが、そこに通所リハビリも入っていただくことで、多職種で情報を共有することができるということが可能になります。そういったメリットがある。」

近藤議員：「開業医はデータだけじゃなくって、その患者がどういった生活をしているが気になるので役に立つかなと思ひまして。」

湊田議員：「とても有効なネットワークだと思いますが、現在、参加無料ということは、今後は何らかの会費等が発生するのか？また、熊本県で完結するネットワークなのか？県を跨いでの全国的なネットワークになるのか？」

事務局：「今のところは、永年無料で、今加入の方にお金を取ることはない。無料だから加入されるという方もいる。熊本県独自のシステムになります。県知事会等の話でモデルになったという話もあり。しかし、そこから広がるということではなく、熊本県内でのシステムとなる。

しかしながら、鹿児島県伊佐市、宮崎県えびの市の方が当院へ緊急搬送されるが、当院で手に負えない時には、まずは、熊本県内の病院へ紹介することを考えるため、そういった時にも役に立つということで、鹿児島県伊佐市、宮崎県えびの市の方にも参加同意を取っています。」

薬師寺議長：「他県でも同じようなネットワークがあるが、現時点でもそれらが繋がる話が出ていない。しかし、くまもとメディカルネットワークの情報を他のJCHOの病院で繋がられないかという動きはあった。その上で、質問ですが、くまもとメディカルネットワークのセキュリティーについての問題についてどうだったのか？」

事務局：「当院のセキュリティーに対する体制が甘かった。院内のネットワークの中にくまもとメディカルネットワークが入っていた。それは当院がJCHOに移行する前から設置されていた背景があった。それで、院内のネットワークから外に出すことで許可が出たので、くまもとメディカルネットワーク自体のセキュリティーが弱いわけではない。」

薬師寺議長：「セキュリティーの問題があったのでは？」

事務局：「当院の場合は、画像をくまもとメディカルネットワークから取りにいていたんですが、これがダメだった。これを違うシステムで外に出して取りに行くようにということで許可が出たので、当院の元のやり方は、JCHOの方針にそぐわないやり方をやっていたということだと思います。」

木協議長：「恥ずかしながら、球磨圏域の参加施設数とか同意者取得数が、人口あたりにすると圧倒的に多くになっているということを知って、こんなすばらしいことを今日初めて知った。これまで沢山の介入数が増えた理由は？人吉医療センターの連携室の頑張りであっていますでしょうか？」

事務局：「まずこのくまもとメディカルネットワークのパイロットエリアに水俣と阿蘇と人吉が入っていたんですけど、水俣は最初から頑張られていた。人吉については、当院が始めたのではなく、医師会の先生方が最初に参加同意を取っていただいていた。その後に当院が頑張った形なので、医師会の先生たちの最初の努力が、今に繋がっているんじゃないかなと私は思っている。」

#### 四、意見交換

##### ①地域の薬剤運用について

高価な医薬品

薬剤師会アンケート実施

今後、抗生剤 出荷制限があり

キシロカイン、サワシサン 歯科でよく使用 限定出荷

##### ②年末年始の救急患者についての対応

年末年始の HMC 救急外来 対応件数が 2 倍となった

医師会での休日当番が対応不可で HMC に依頼が殺到し、当番医以外の別の医師を配置させ、発熱外来も別に設けた。

看護師も電話受付に手を取られた。

医師会の方で休日当番医、救急指定病院での対応をお願いしたい。

医師会としても、当番医を増員させて断らないように対応していく。

#### 五、その他

来年度、球磨郡歯科医師会が人吉市歯科医師会と合併予定

#### 六、閉会